

## 別紙 2

# 現行計画の指標及び重点的に対応すべきターゲットの成果 指標の評価に関する交通事故の発生状況について

### ○ 趣旨

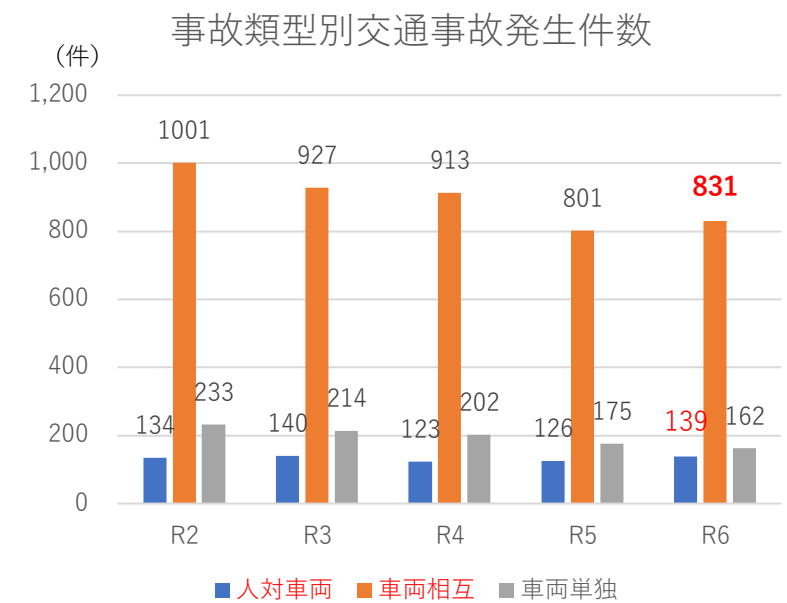
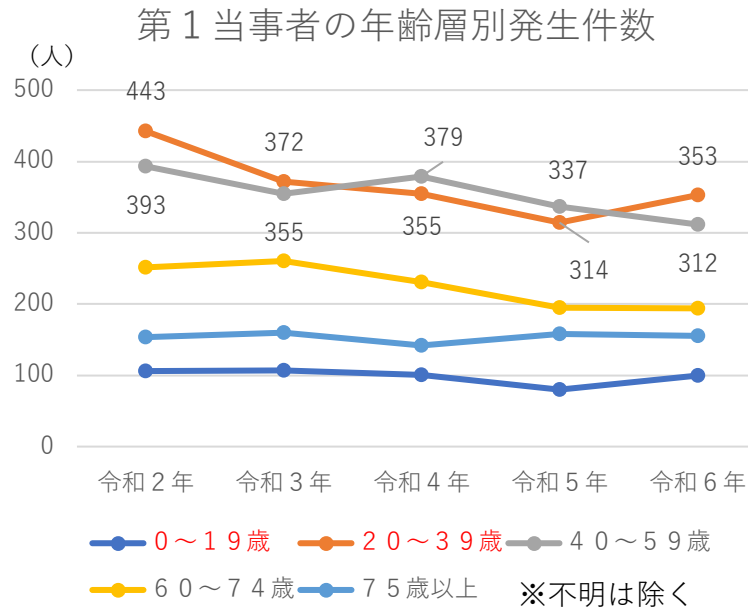
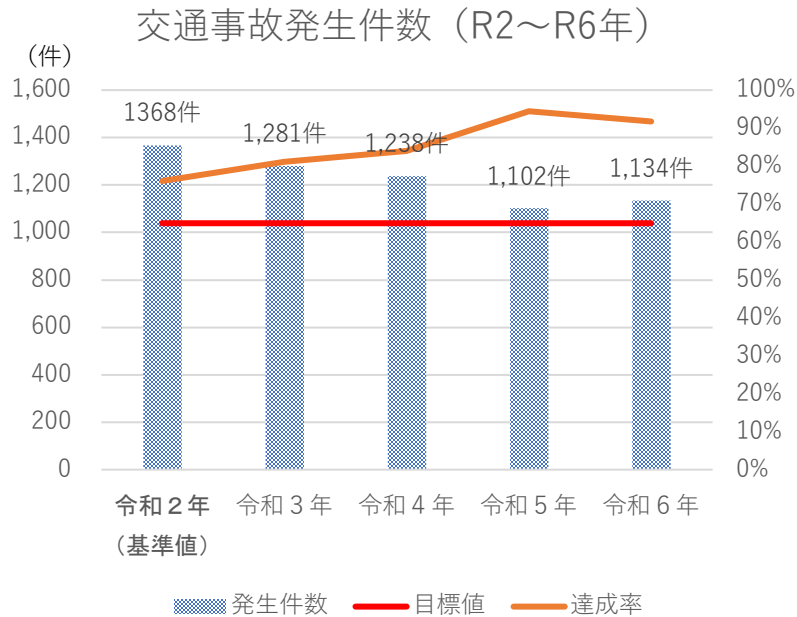
第11次宇都宮市交通安全計画において計画の指標としている交通事故発生件数、死者数、重傷者数のほか、重点的に対応すべきターゲットに設定している子どもや高校生、高齢者、自転車利用者の成果指標の達成状況と評価に関する交通事故発生状況についてまとめたもの

# 計画指標に関する交通事故の発生状況について（計画指標①交通事故発生件数）

## 計画指標の達成状況 ①交通事故発生件数

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

指標名		基準値	目標値	実績			
		令和2年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
交通事故発生件数	人身事故の発生件数	1,368件	1,040件以下	1,281件	1,238件	1,102件	1,134件
				達成率	81.2%	84.0%	94.4%



交通事故発生件数は令和5年まで減少し続け過去最少となったが、令和6年は前年比で増加した。

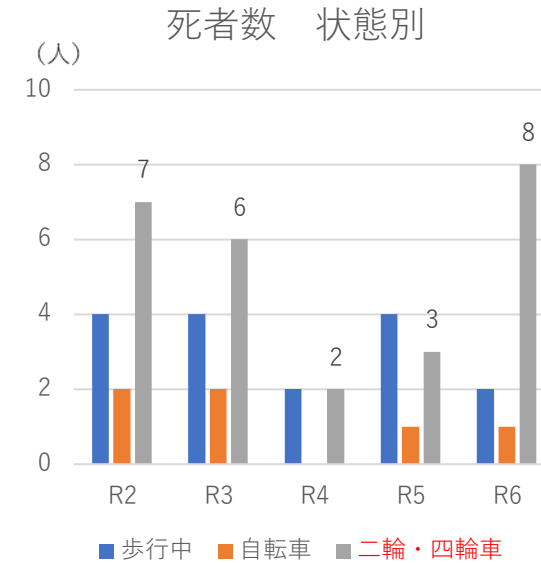
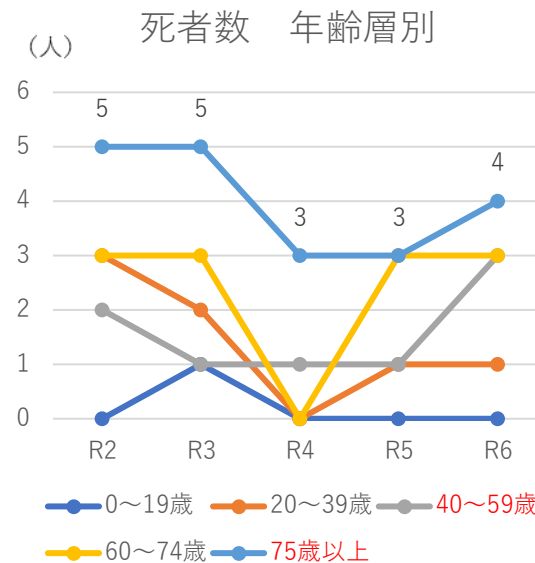
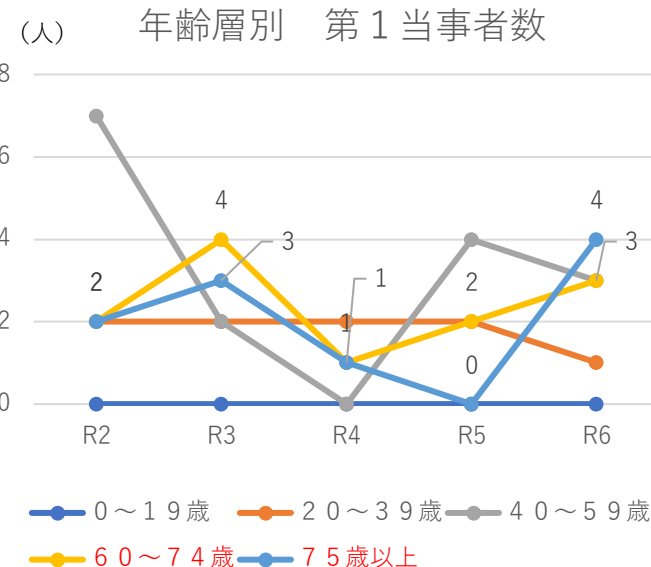
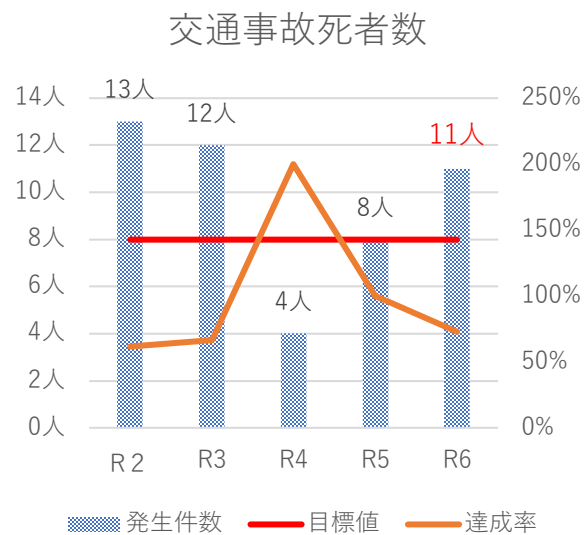
年齢層別では0～19歳や20～39歳，事故類型別では人対車両及び車両相互の事故が増加した。

事故類型別では人対車両及び車両相互の事故が増加した。

## 計画指標の達成状況 ②交通事故死者数

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

指標名		基準値	目標値	実績			
		令和2年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
交通事故死者数	交通事故の発生から24時間以内に死亡した者の数	13人	8人以下	12人	4人	8人	11人
			達成率	66.7%	200.0%	100.0%	72.7%



交通事故死者数は令和4年まで減少し続け過去最少となったが、令和5・6年は前年比で増加した

死亡事故における第1当事者の年齢層別では60歳以上で増加した

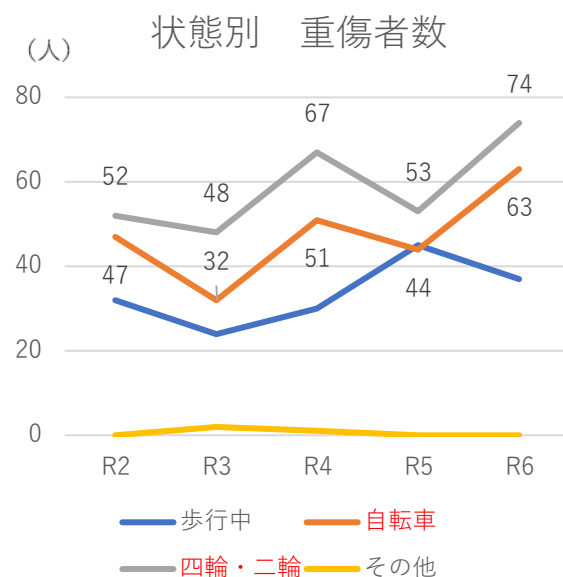
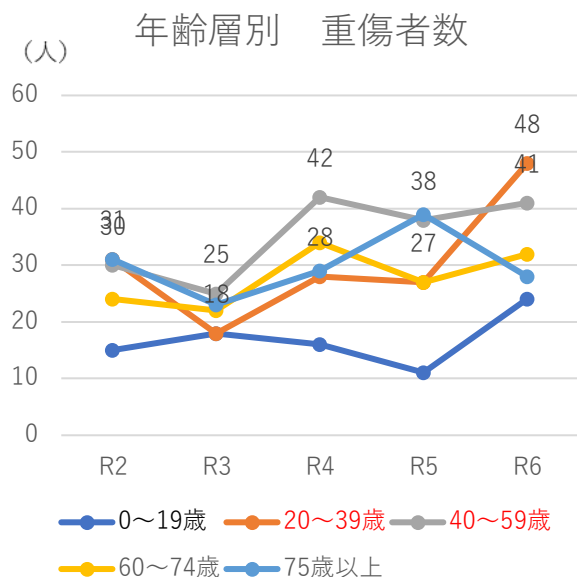
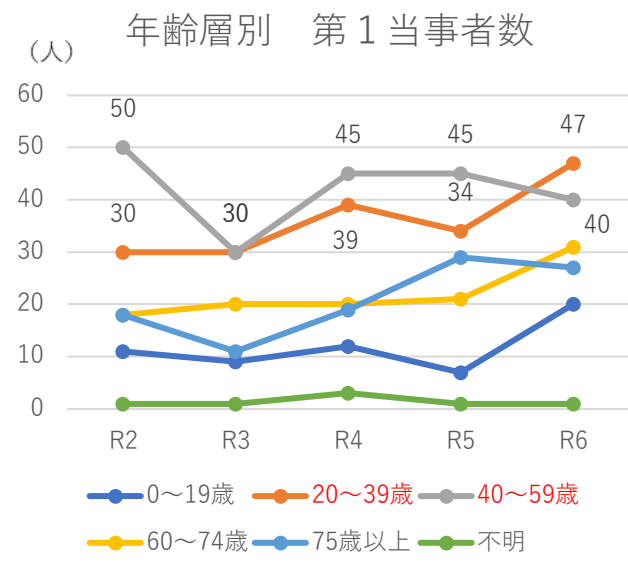
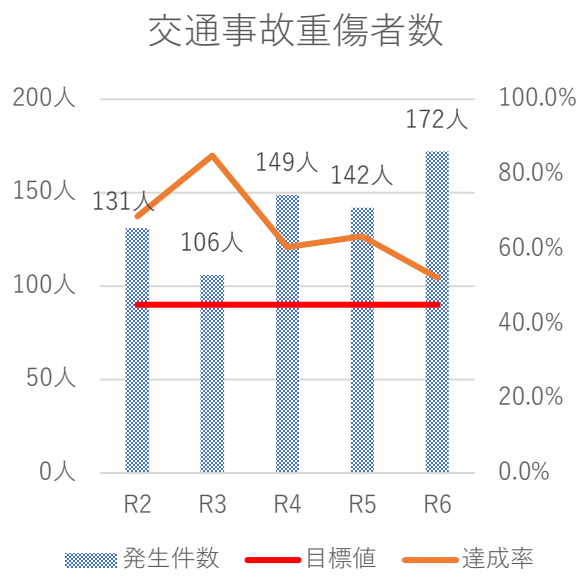
死亡者の年齢層は40～59歳や75歳以上、状態別では二輪・四輪車、増加した。

死亡者の年齢層は40～59歳や75歳以上、状態別では二輪・四輪車、増加した。

## 計画指標の達成状況 ③交通事故重傷者数

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

指標名	基準値 令和2年	目標値 令和7年	実績			
			令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
交通事故重傷者数 交通事故により受傷し全治1ヶ月（30日）以上と診断された者の数	131人	90人以下 達成率	106人	149人	142人	172人
			84.9%	60.4%	63.4%	52.3%



交通事故重傷者数は計画初年度に前年比で減少したものの、それ以降増加し、高い水準で推移している。

第1当事者の年齢層別では20～39歳や、40～59歳の年齢層に多い。

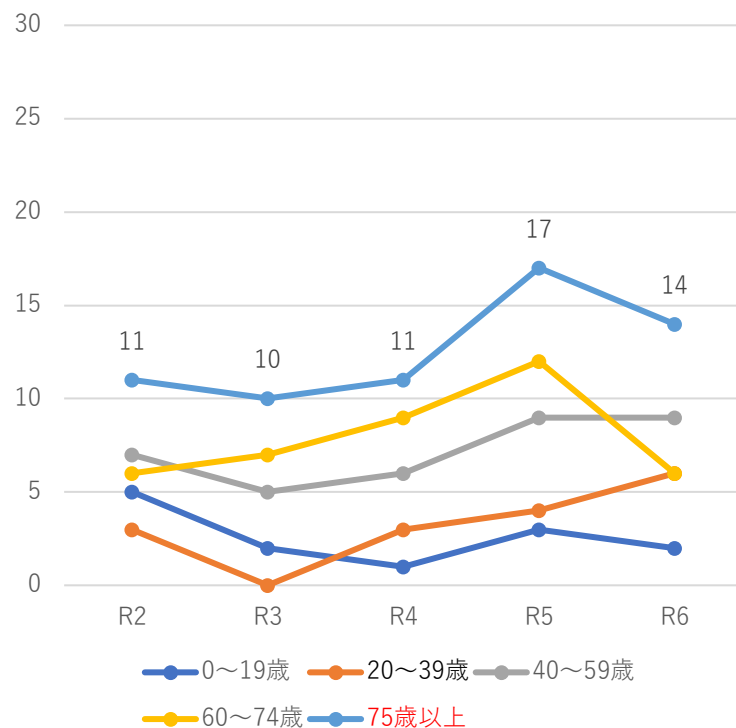
重傷者の年齢層別では20～39歳や、40～59歳の年齢層に多い。

状態別では自動車等乗車中や自転車乗車中が多く、令和6年においては前年比でも増加している。

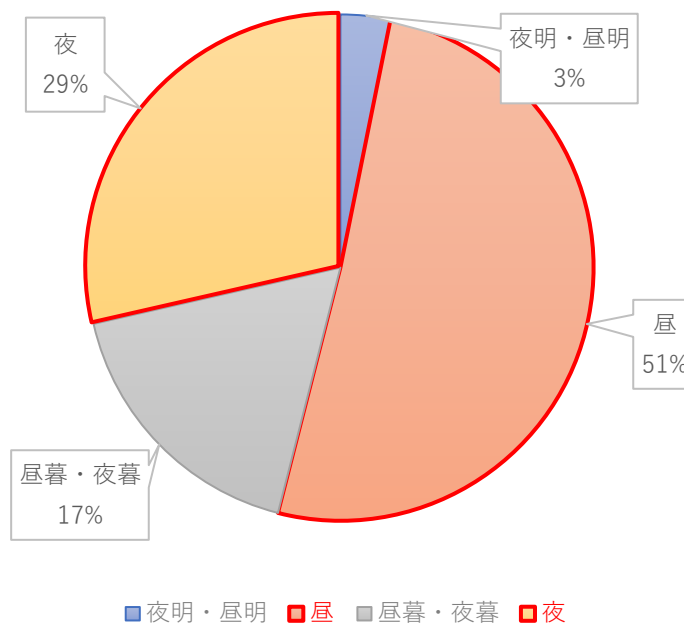
## 計画指標の達成状況 ③交通事故重傷者数

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

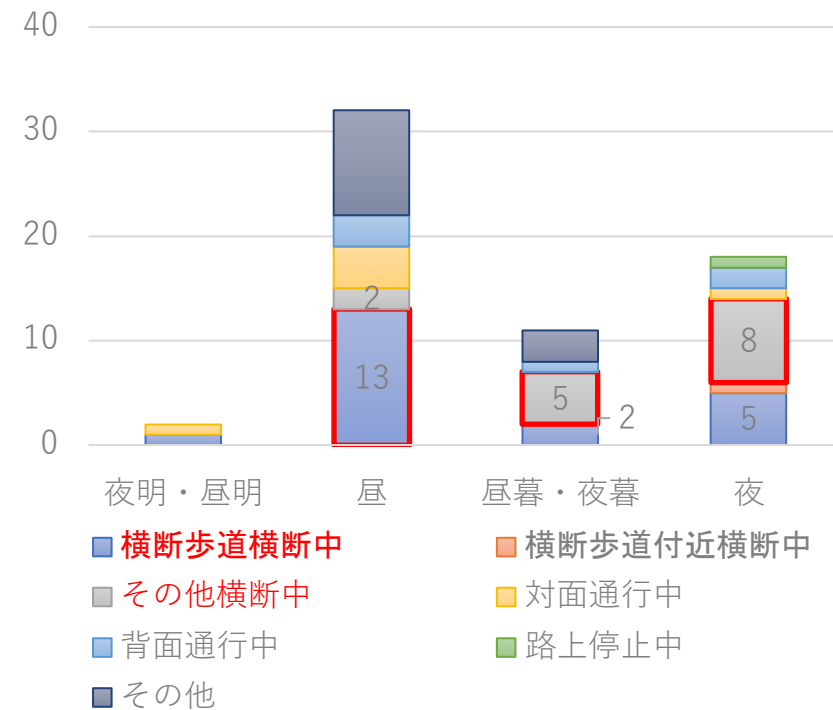
(人) 重傷者数 年齢層別 (歩行中)



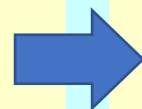
75歳以上の歩行中の重傷者数  
昼夜別 (R2～R6累計)



(人) 75歳以上の歩行中の重傷者数 事故類型別  
(R2～R6累計)



歩行中では75歳以上が多い



75歳以上の歩行中の重傷者数は昼夜別では昼が最も多く次いで夜となっている

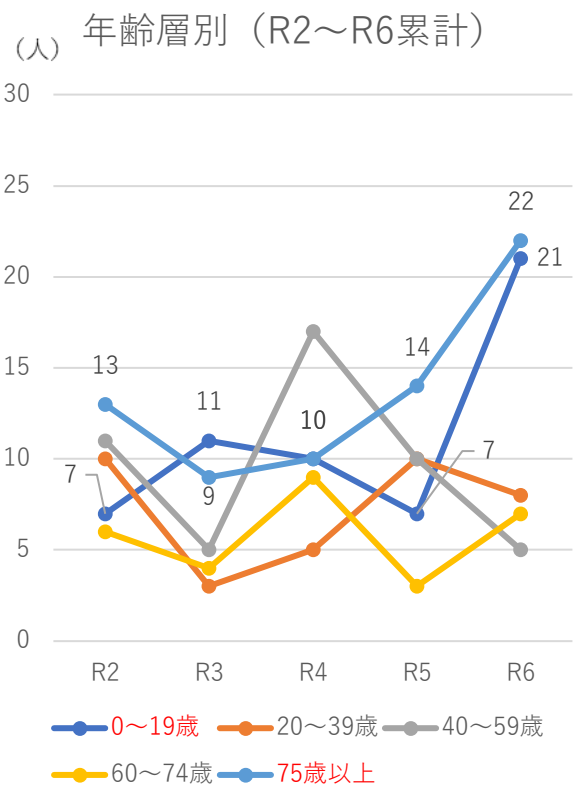


事故の類型別では昼は横断歩道横断中、夜はその他横断中が多い。

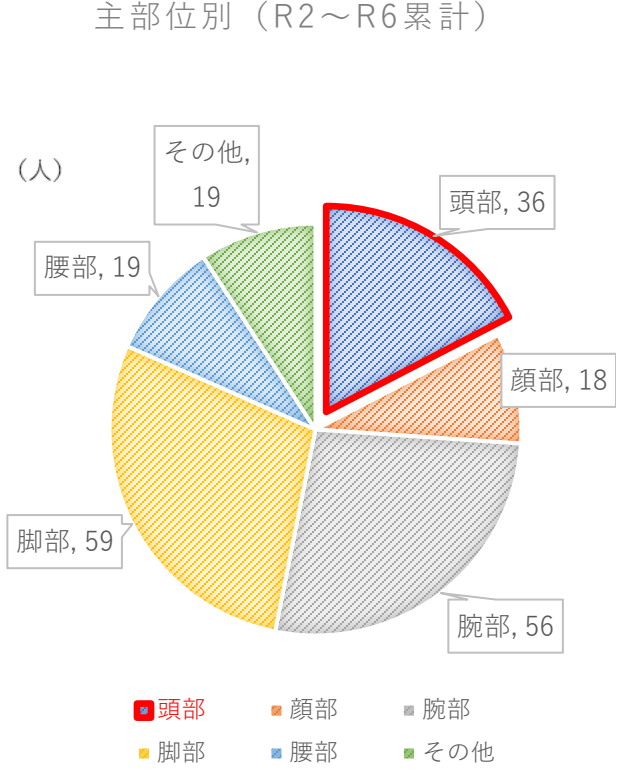
## 計画指標の達成状況 ③交通事故重傷者数

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

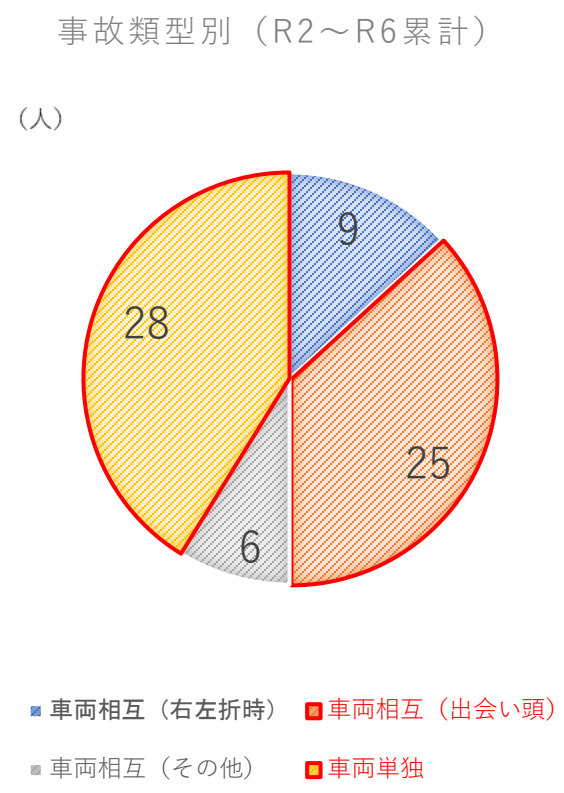
### 自転車乗車中重傷者数 年齢層別 (R2～R6累計)



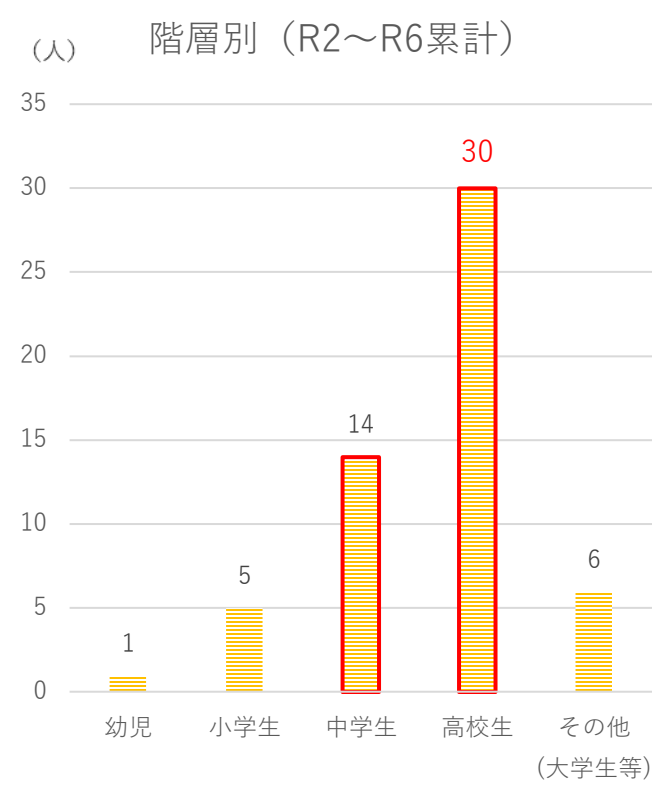
### 自転車乗車中重傷者数 損傷主部位別 (R2～R6累計)



### 75歳以上の自転車重傷者数 事故類型別 (R2～R6累計)



### 0～19歳の自転車の重傷者数 階層別 (R2～R6累計)



自転車乗車中では75歳以上、0～19歳の年齢層が多い

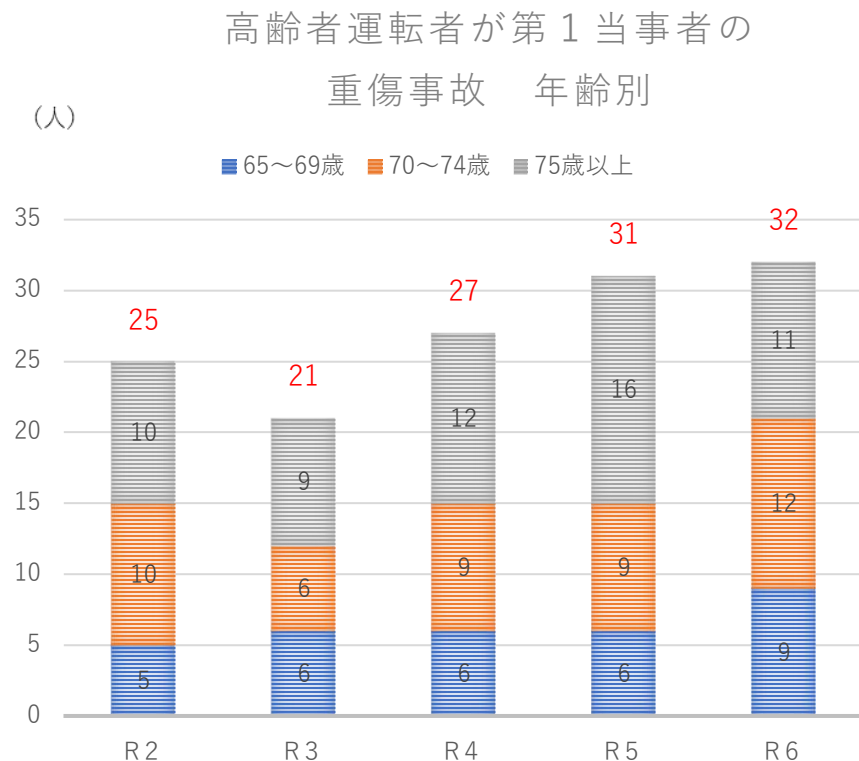
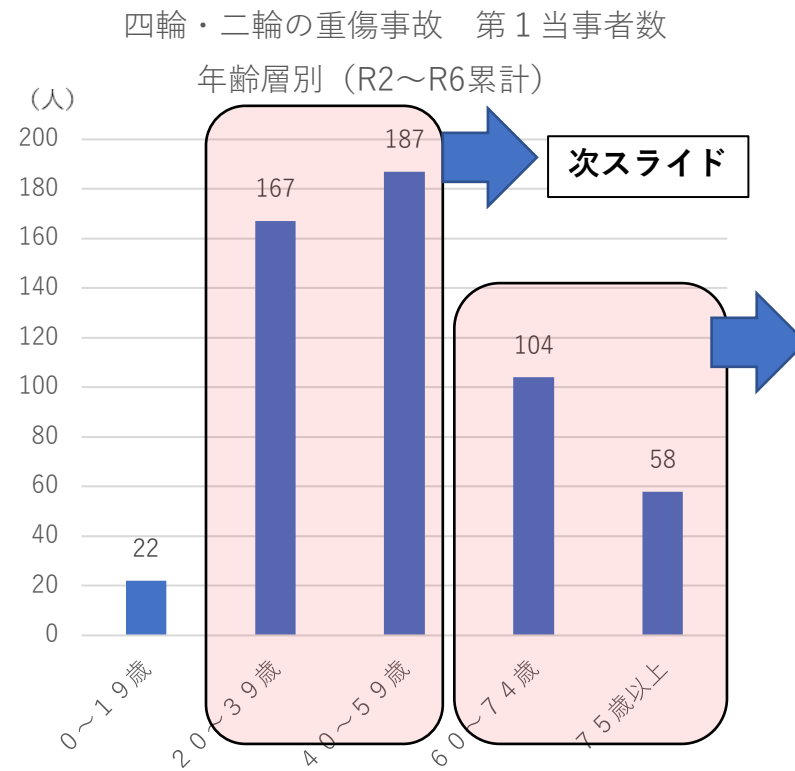
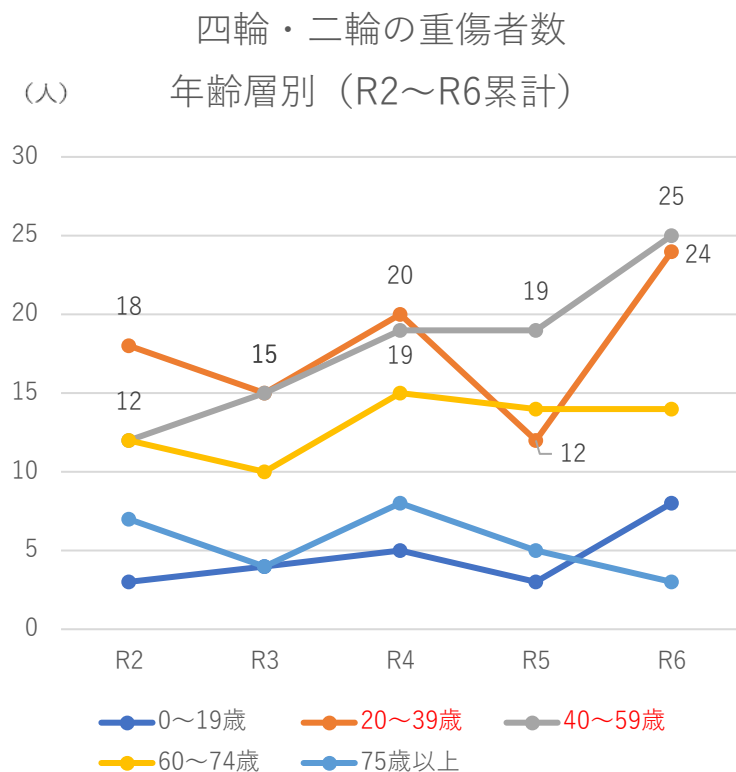
自転車乗車中の重傷者の損傷種部位別では頭部が多い

75歳以上では車両単独事故や出会い頭が多い

0～19歳の世代別では高校生、次いで中学生が多い

## 計画指標の達成状況 ③交通事故重傷者数

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集



自動車等（原付以上）乗車中の交通事故重傷者の年齢層別では40～59歳、20～39歳が多い

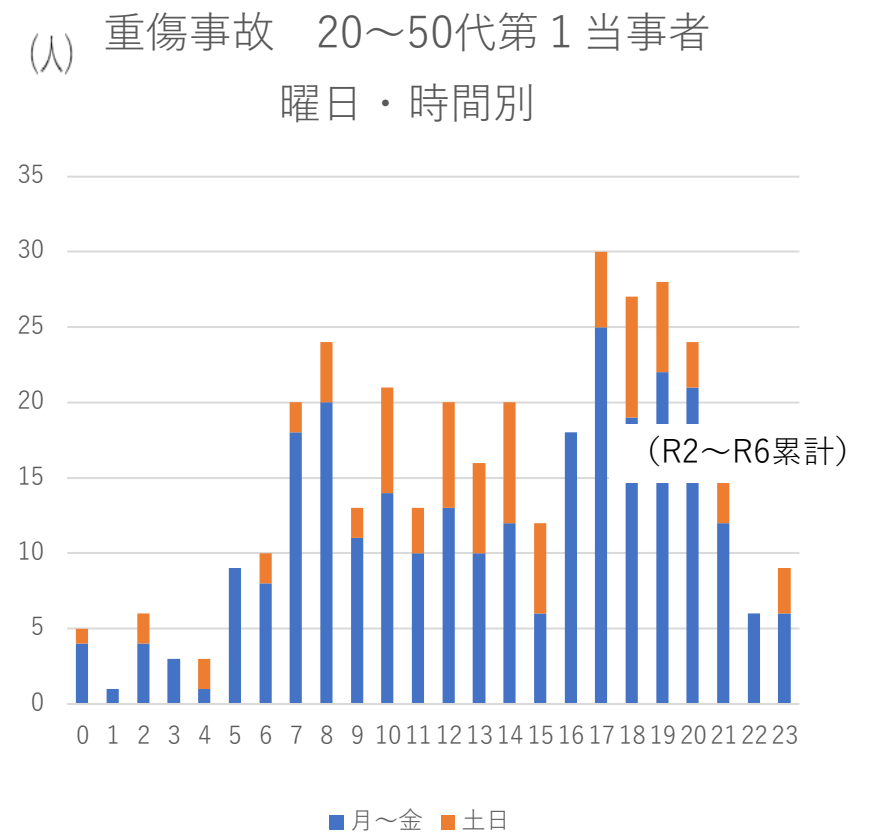
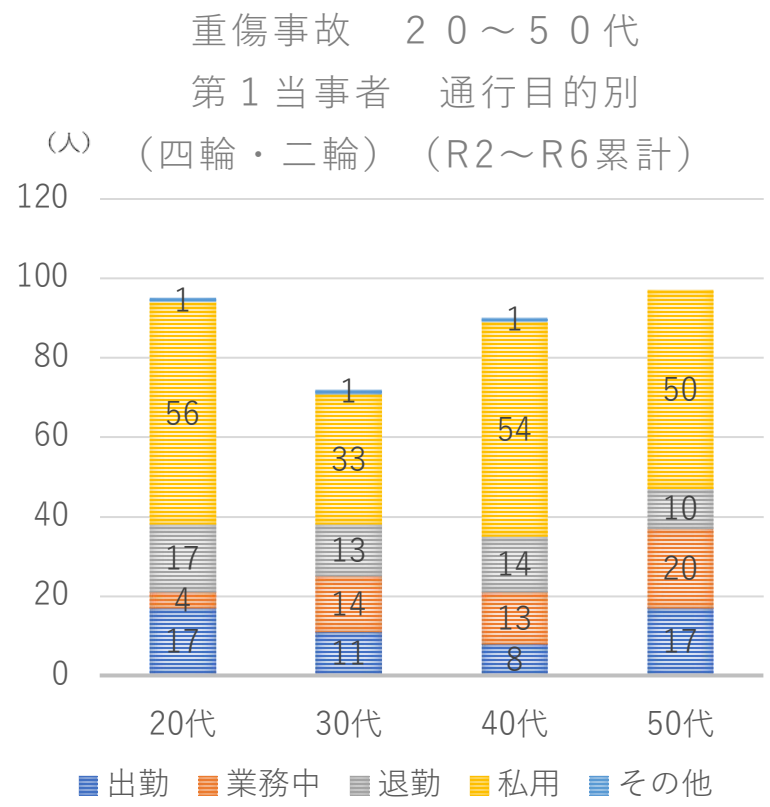
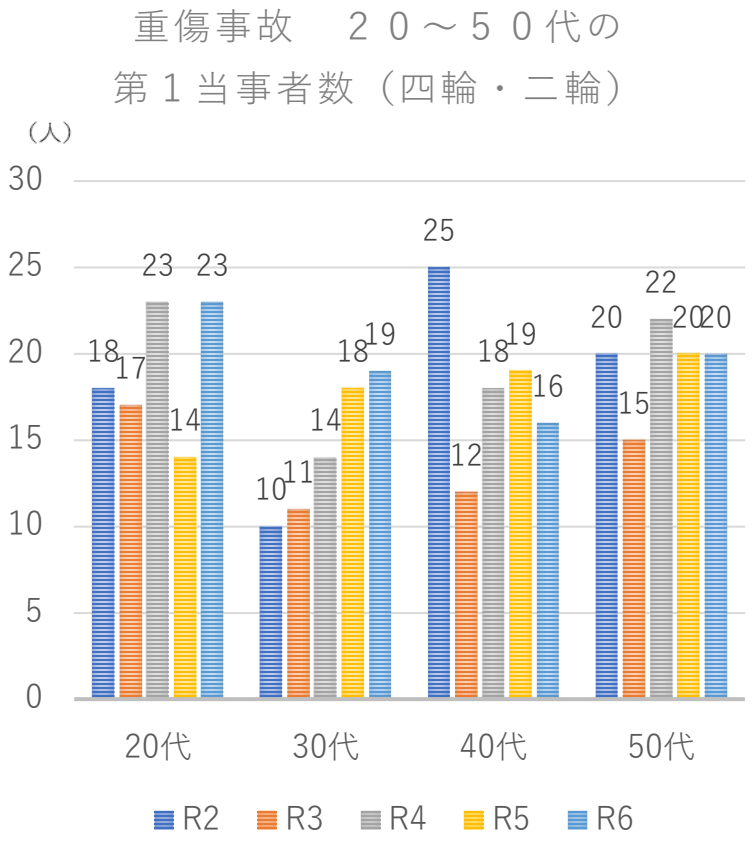
自動車等の第1当事者数の年齢層別では40～59歳、20～39歳が多い

高齢者運転者（原付以上）が第1当事者となる重傷事故が増加している

# 計画指標に関する交通事故の発生状況について (計画指標③交通事故重傷者数)

## 計画指標の達成状況 ③交通事故重傷者数

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集



0～50代の第1当事者数は30代が増加傾向にある

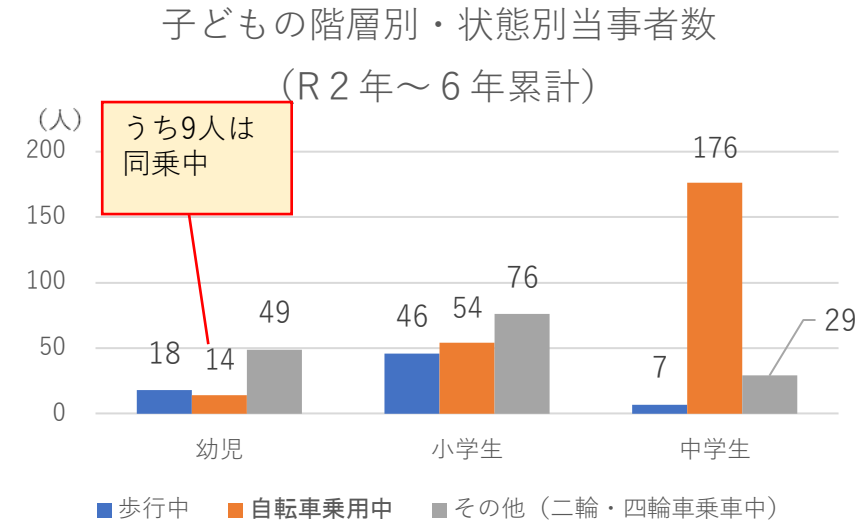
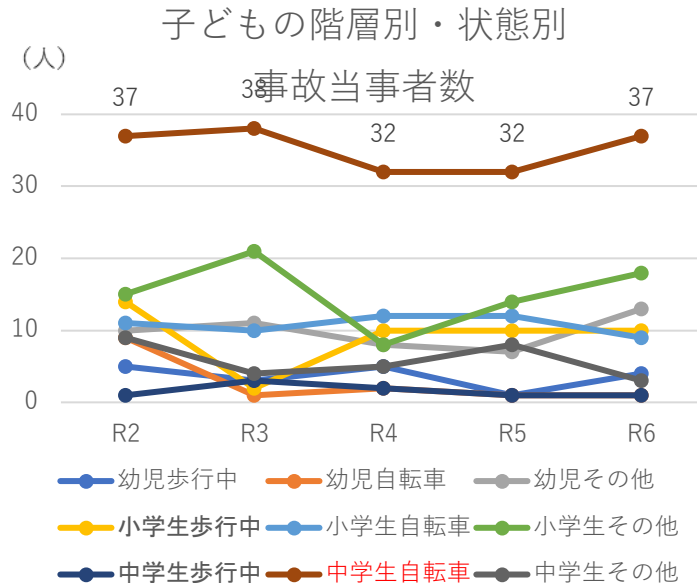
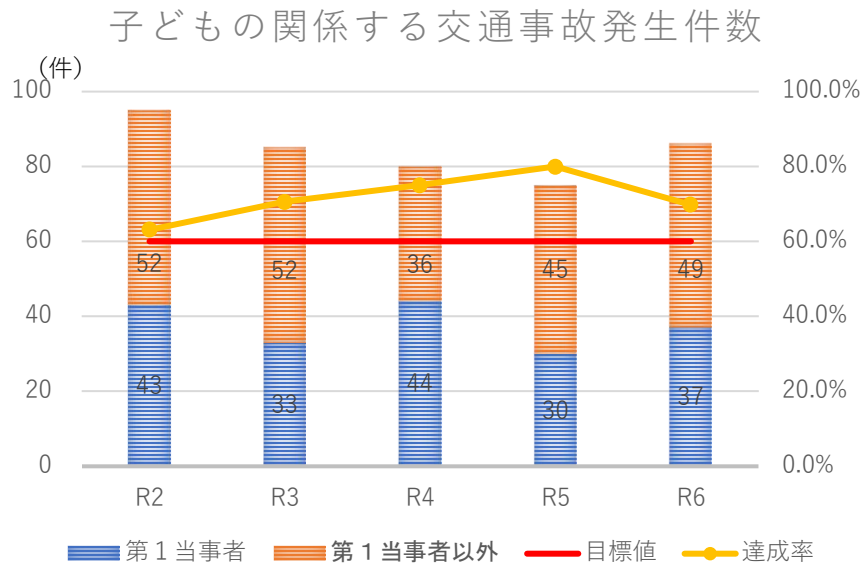
20代は通勤途中の重傷事故が多い

時間帯別では平日の朝夕の時間帯が多い

## 重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

成果指標名		基準値	目標値	実績			
		令和2年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
子どもや高校生の安全確保	子どもが関係する交通事故発生件数	95件	60件以下	85件	80件	75件	86件
			達成率	70.6%	75.0%	80.0%	69.8%



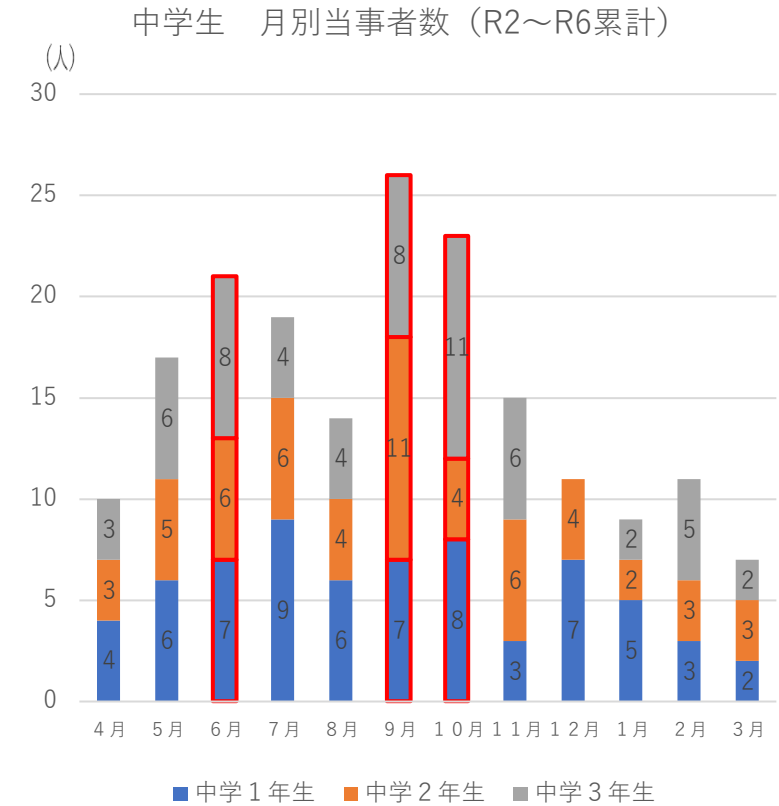
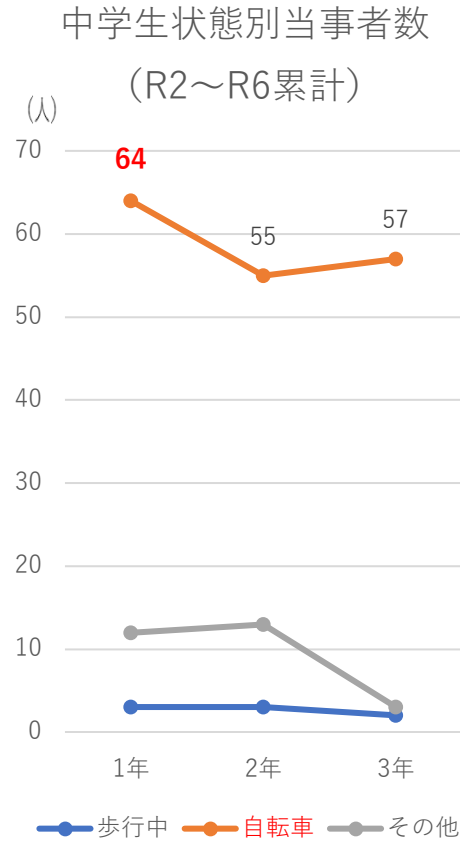
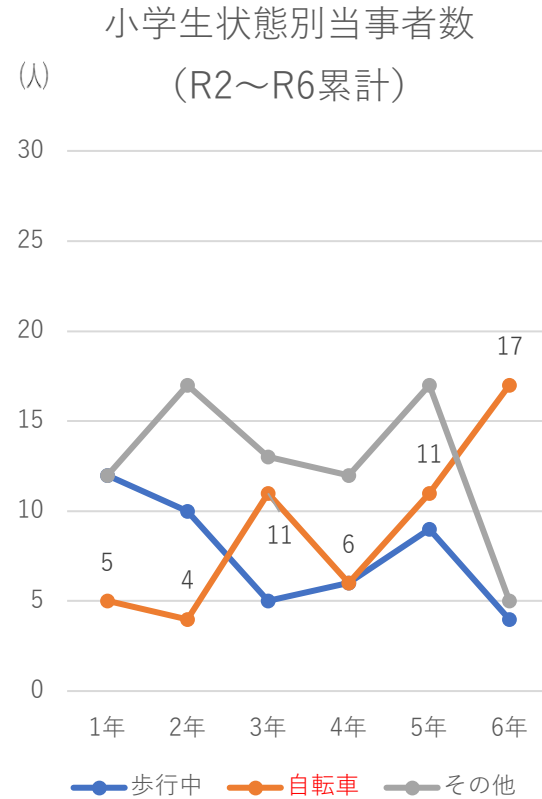
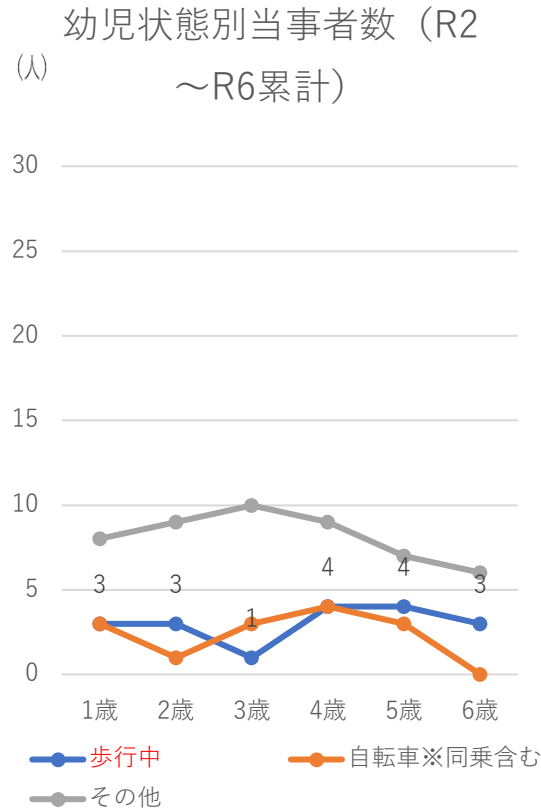
子どもが関係する交通事故は令和5年まで減少していたものの、令和6年において前年比で増加した。

自動車同乗中などの「その他」を除くと、中学生の自転車の交通事故が増加している。

状態別では幼児の頃は歩行中の事故が多いものの、小学校・中学校へ成長するごとに自転車と歩行者が逆転していく。

## 重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集



幼児は歩行中の事故が多い (その他除く)

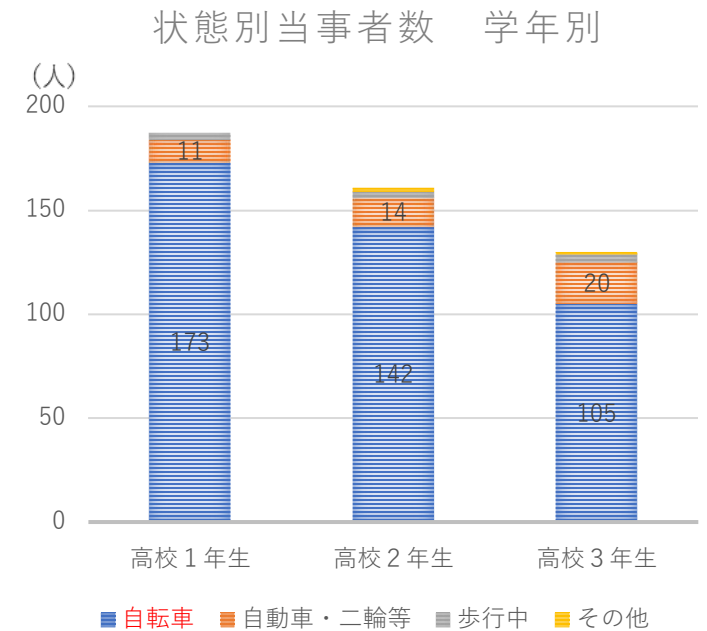
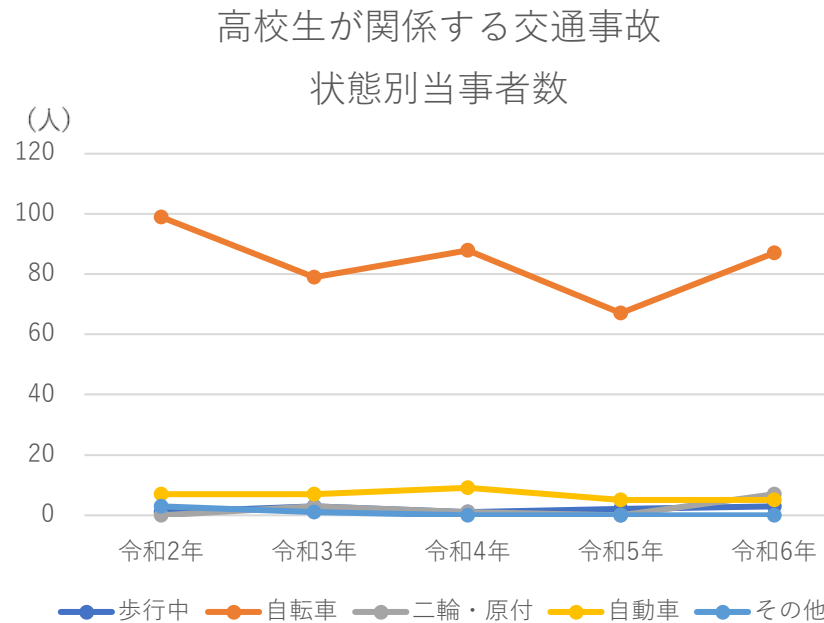
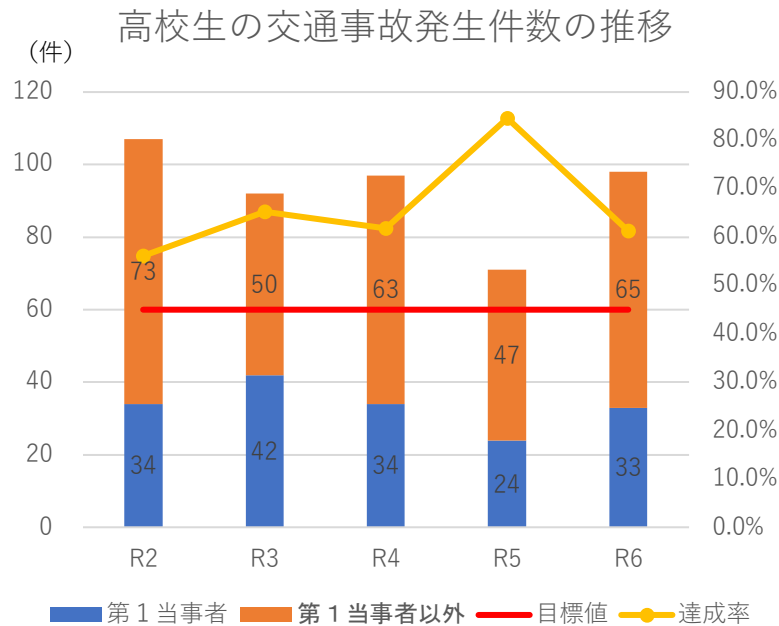
小学生の頃には自転車の事故が歩行中の事故よりも多くなる

- ・中学生の頃は自転車の事故が多く発生し特に中学1年生で多く発生している
- ・月別では6月や9・10月に多く発生する傾向がある

## 重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

成果指標名		基準値	目標値	実績			
		令和2年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
子どもや高校生の安全確保	高校生が関係する交通事故発生件数	107件	60件以下	93件	97件	71件	98件
			達成率	64.5%	61.9%	84.5%	61.2%



高校生が関係する交通事故は令和6年において前年比で増加した。

状態別では自転車が最も多い。

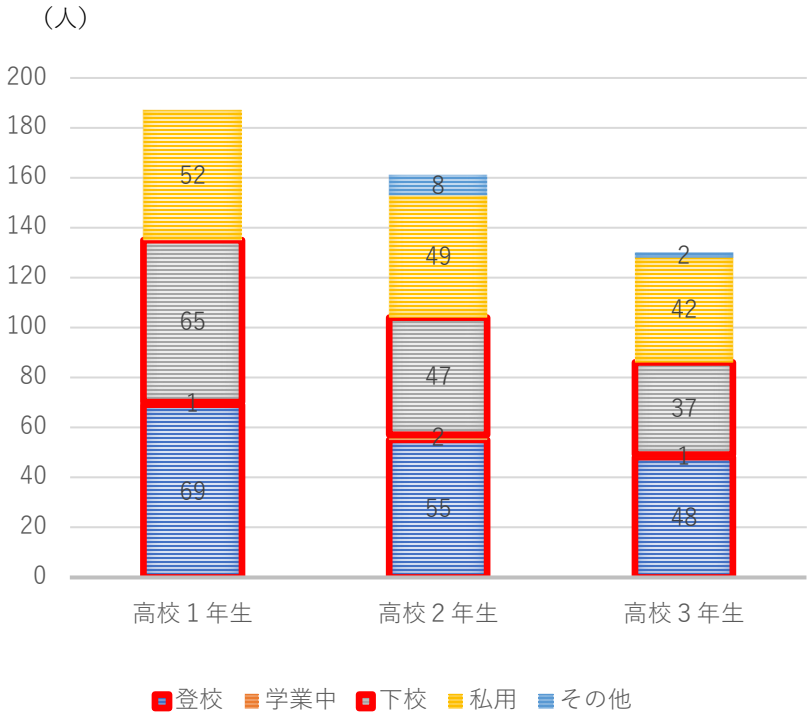
学年別では高校1年生が最も多い。

# 重点ターゲットの成果指標に関する交通事故の発生状況について (②高校生の安全確保)

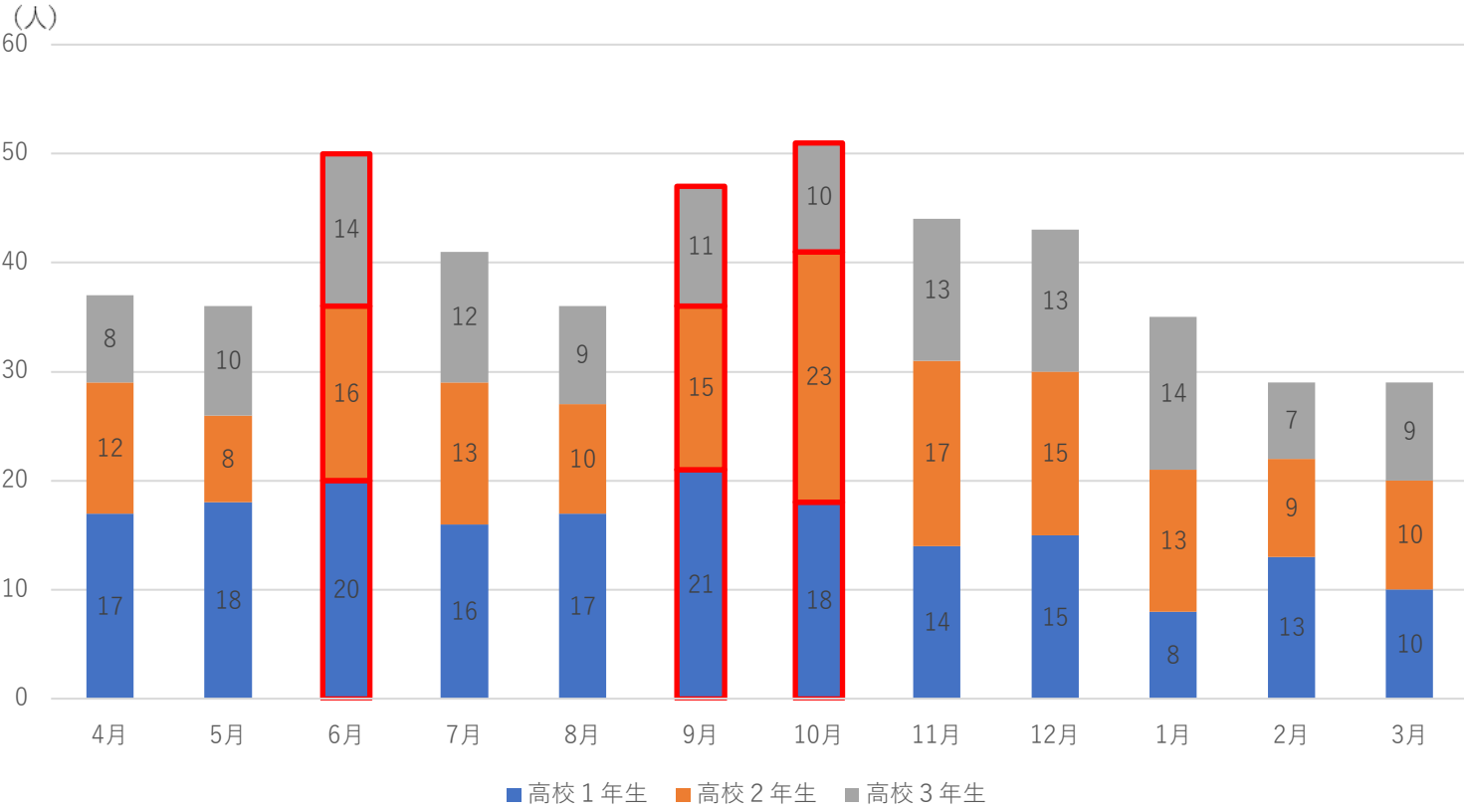
## 重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

高校生の交通事故 通行目的別  
 当事者数 (R2~R6累計)



高校生の交通事故 月別当事者数



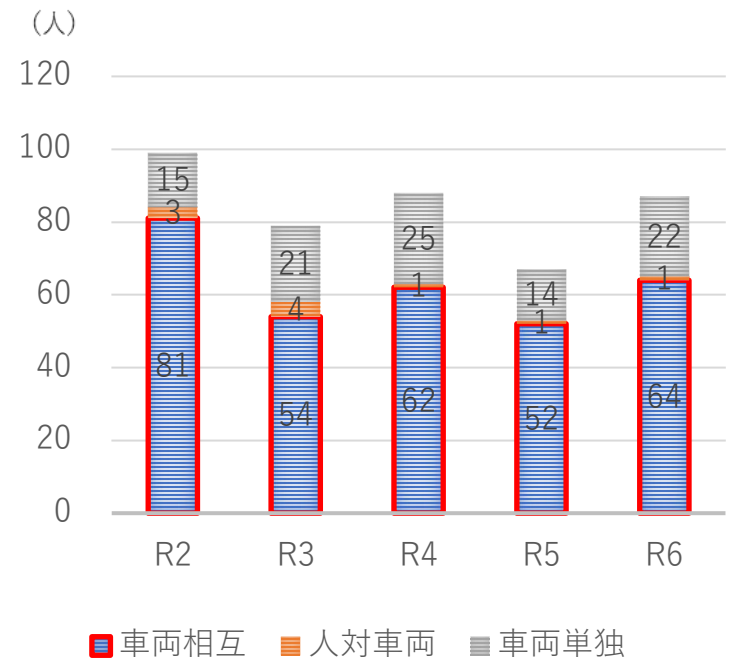
学年が上がるにつれ、通学中の事故が減少していく

1・2年生は6月や9月、10月に多く発生している

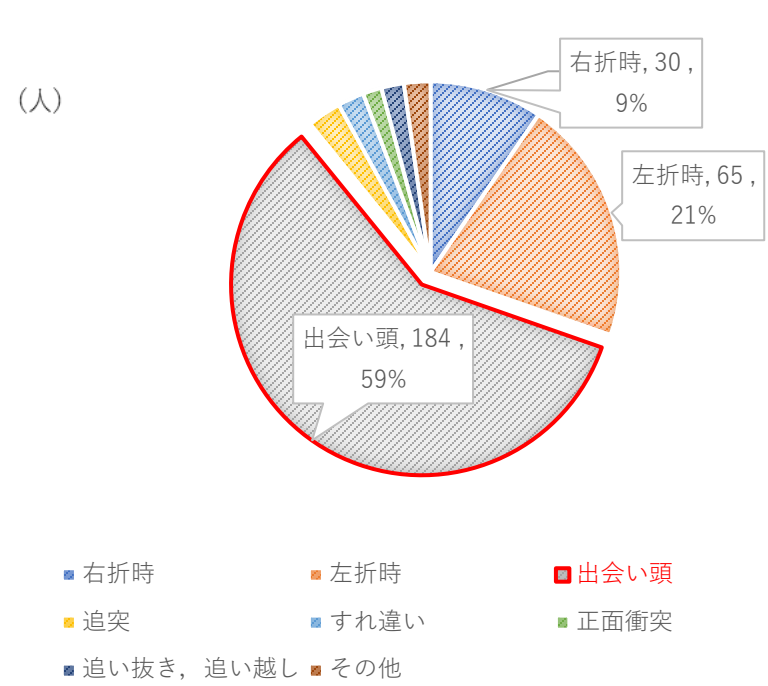
# 重点ターゲットの成果指標に関する交通事故の発生状況について (②高校生の安全確保)

## 重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況 ※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

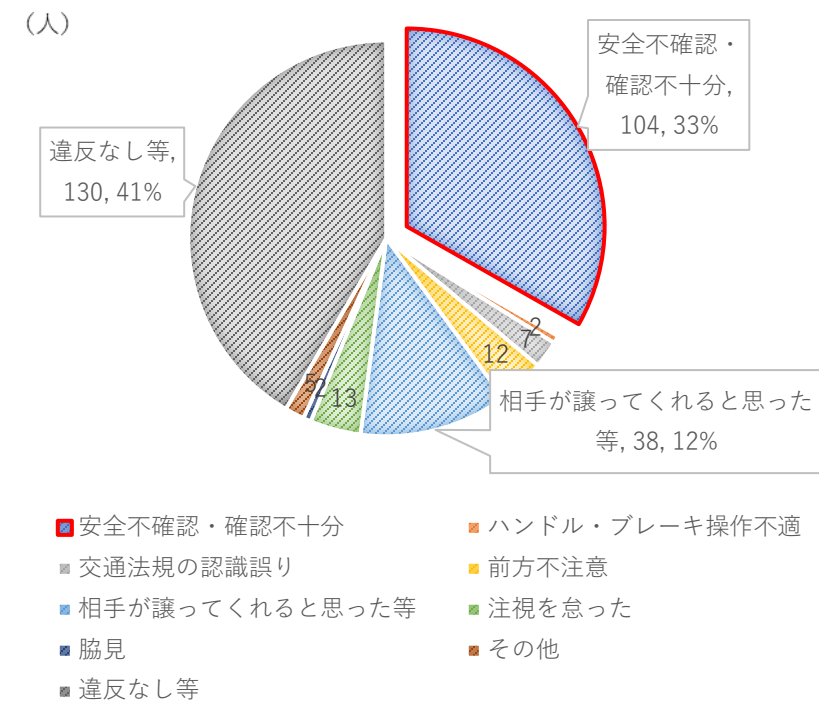
事故類型別 高校生の自転車の交通事故当事者数



高校生の自転車の交通事故車両相互の内訳 (R2～R6累計)



高校生の自転車の交通事故車両相互 事故原因内訳



高校生の自転車の交通事故類型別では車両相互が多い

車両相互の内訳は出会い頭が多い

原因別では安全不確認や確認不十分が多い

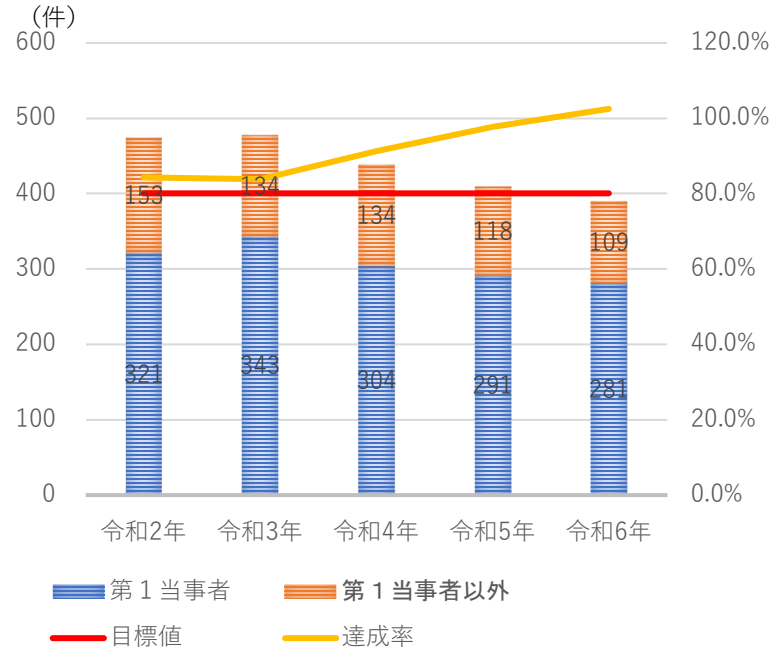
# 重点ターゲットの成果指標に関する交通事故の発生状況について (③高齢者の安全確保)

## 重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況

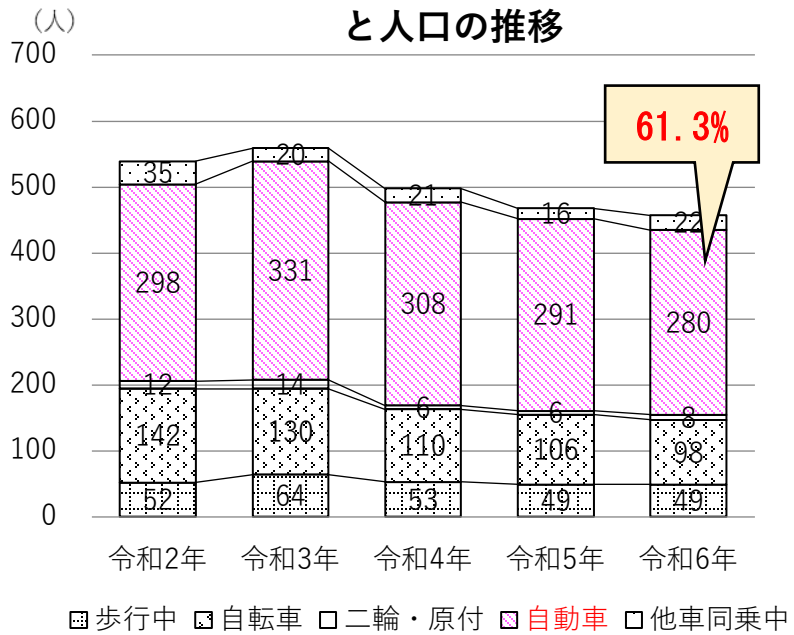
※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

成果指標名		基準値	目標値	実績			
		令和2年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
高齢者の安全確保	高齢者が関係する交通事故発生件数	474件	400件以下	477件	438件	409件	390件
			達成率	83.9%	91.3%	97.8%	102.6%

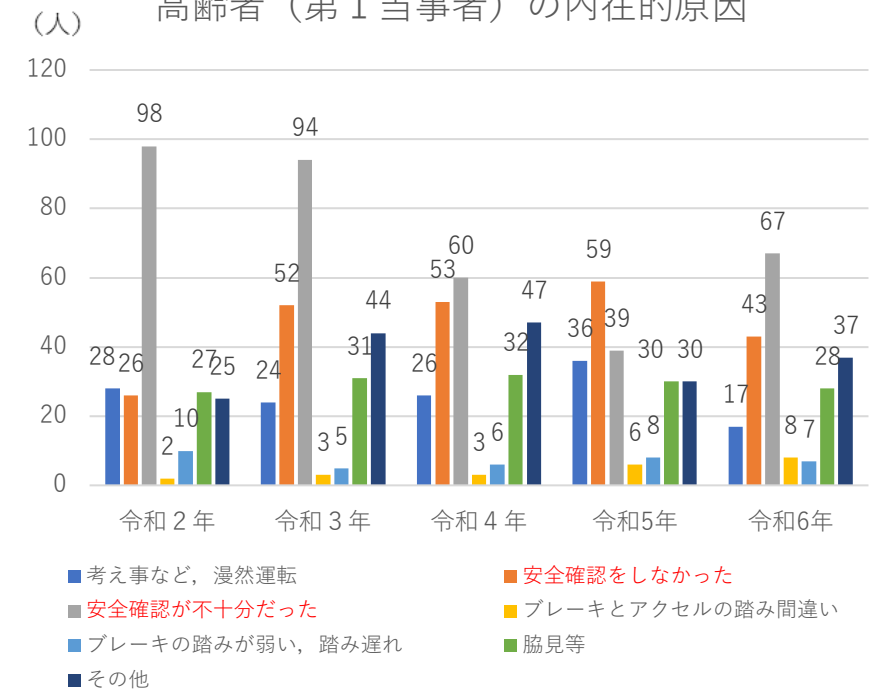
### 高齢者の交通事故の発生件数



### ②高齢者の交通事故の状態別当事者数と人口の推移



### 高齢者（第1当事者）の内在的原因



高齢者が関係する交通事故は前年比で減少傾向にある。

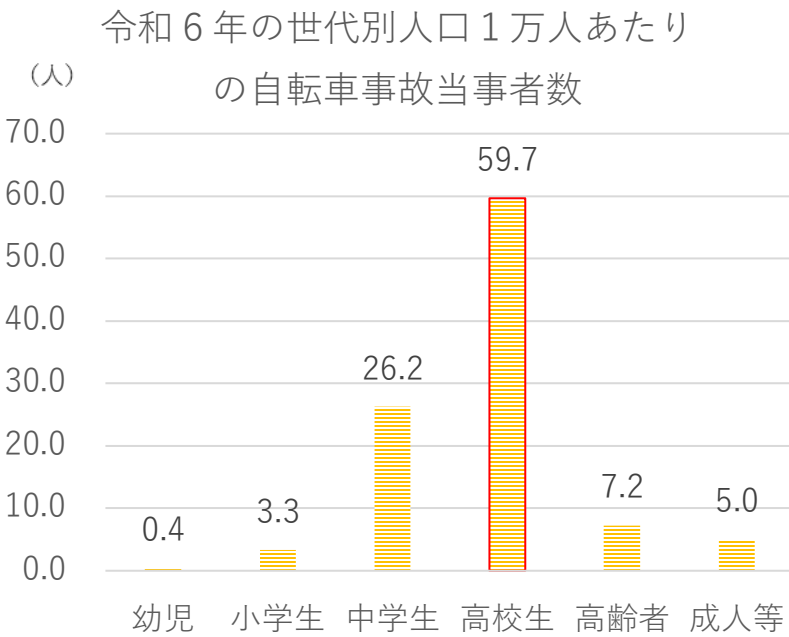
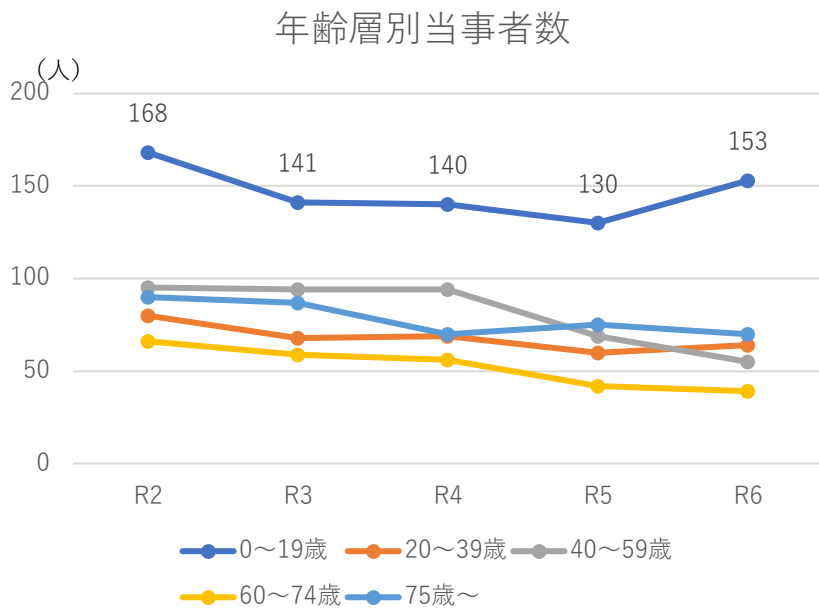
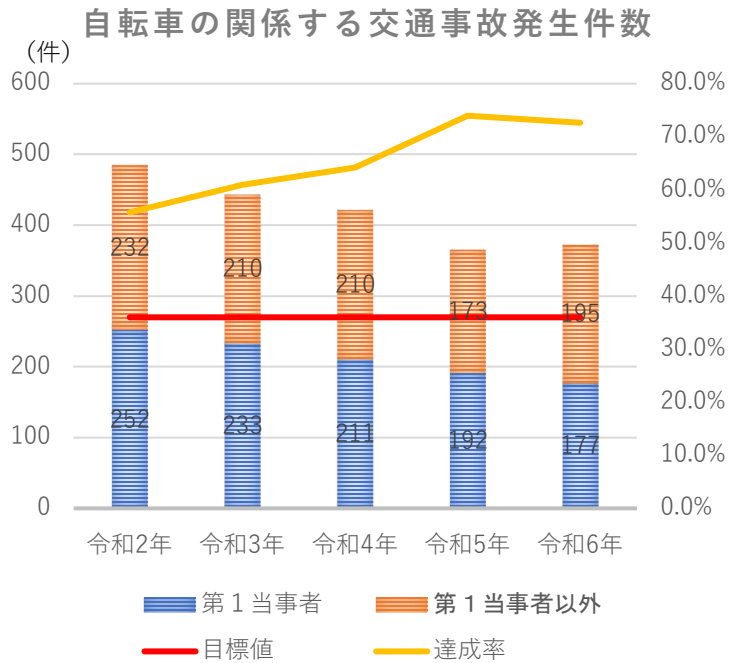
状態別では自動車乗車中（61.3%）が多い。

自動車の第1当事者の内在的原因では「安全確認不十分」などが多い。

# 重点ターゲットの成果指標に関する交通事故の発生状況について (④自転車利用者の安全確保)

## 重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況 ※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集

成果指標名		基準値	目標値	実績			
		令和2年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
自転車利用者の安全確保	自転車に関する交通事故発生件数	484件	270件以下	443件	421件	365件	372件
				達成率	60.9%	64.1%	74.0%

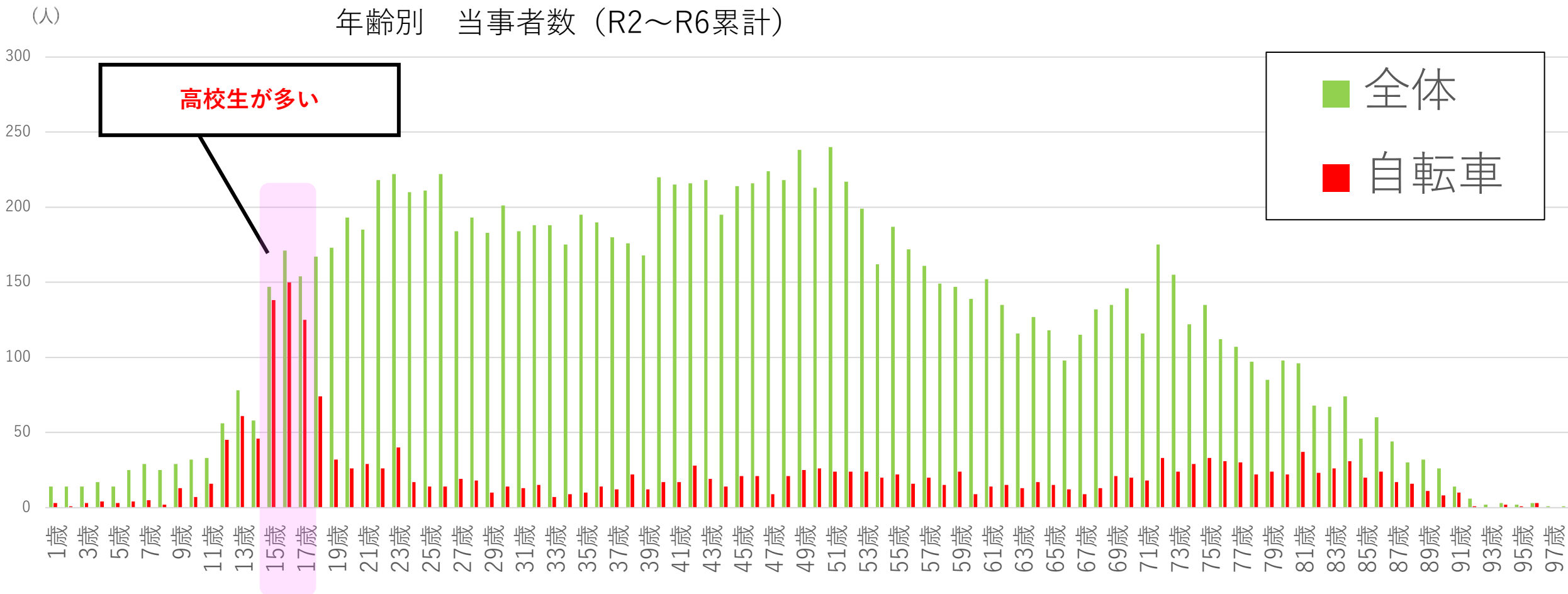


自転車に関する交通事故は令和5年まで減少傾向であったが、令和6年は前年比で増加した。

年齢層別では0~19歳の世代が増加している。

世代別人1万人あたりでは高校生が最も多く、次いで中学生となっている。

重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況



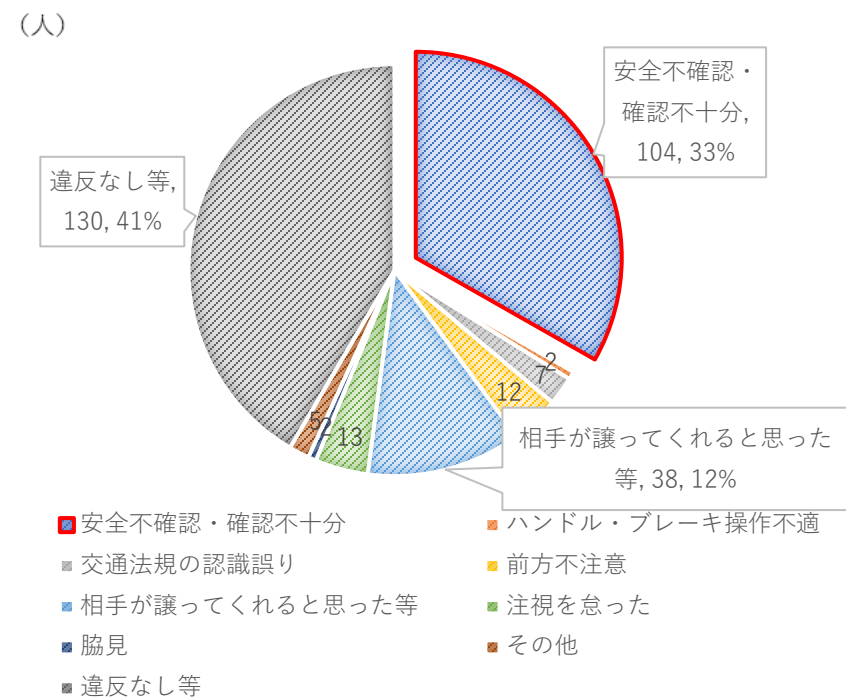
自転車の交通事故当事者数は15歳~17歳が他の年齢と比較し突出して高い

重点ターゲットの成果指標に関する交通事故の発生状況について (④自転車利用者の安全確保)

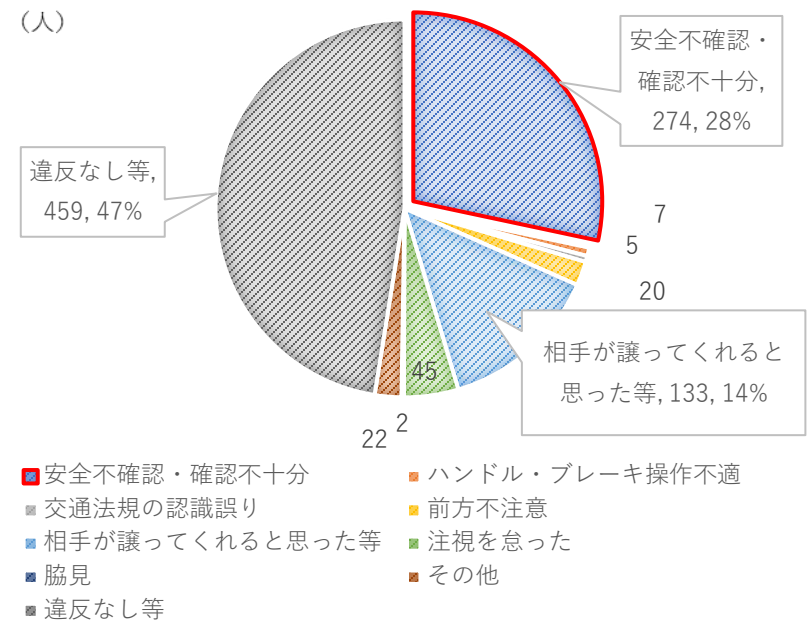
重点的に対応すべきターゲットの成果指標の達成状況

※交通事故データは県警から提供を受けたデータを市で編集  
【再掲】 高校生の自転車の交通事故

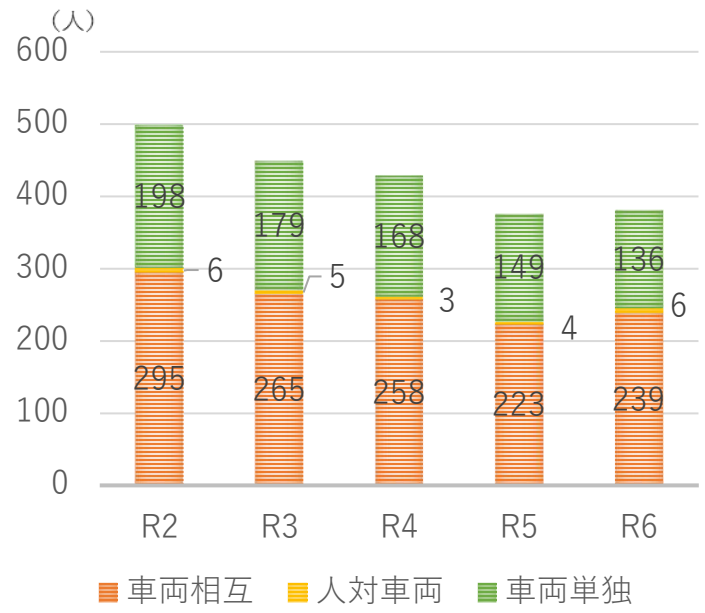
車両相互 事故原因別当事者数



高校生以外の自転車の交通事故 車両相互 事故原因別当事者数



自転車の交通事故 事故類型別当事者数



単独事故は減少傾向にある

原因別では安全不確認・確認不十分が多い

【再掲】 高校生も同様の傾向である

■ 【参考】 JR宇都宮駅西側の自転車の交通事故発生地点

凡例・・・●：高校生以外 ●：高校生

